

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】 3【そなえる】	⑪【ボランティア】 ⑭【復旧・復興へのあゆみ】 ⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】	特別活動 生徒会活動 (5) 社会参加

- 【題材】 1 「現地ボランティア活動」
2 「現地ボランティアの報告と決意表明の集会」

- 【対象】 1 希望生徒85名
2 全校生徒420名

【実践の概要・詳細】

実施時期	事 業 内 容
7月中旬	<p>被災地支援『ボランティア啓蒙』活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 募集PR活動 ◎ パネル展PR活動 「被災地の当時の様子」 「被災地の現在の様子」 「今、私たちできること・必要とされていることは？」 ○ 集会PR活動
夏休み中 ↓ 8月5日 (火)	<p>被災地支援『現地ボランティア』活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大型バス二台 ○ 陸前高田方面へ ○ 活動内容 ① 語り部講話 (陸前高田観光ガイド部会) ② 畑作り、花植え、草取り等 苗持参 (陸前高田カモメネット) ③ 被災者との交流(予定)
3月上旬	<p>3・11集会『被災地現状報告と決意表明』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集会内容 被災地の現状報告(前期生執行部) 現地ボランティア活動の報告(前期執行部) 企画運営(後期執行部) 今後の活動の決意表明(後期執行部) ○ 集会の方針 前期の活動を、後期が【関わりを引き継ぐ】



【授業の展開】

被災地ボランティア引率計画

- 1 目的
 - ・被災地の現状を見たり、住民に触れながら、被災地の方々の思いを理解し、ボランティアの心を養う。また、参加した生徒がボランティアの精神を全校に伝え、活発なアルミ缶回収などのボランティア活動につなげる。
- 2 日時 平成 26 年 8 月 5 日（火） 6：30～17：30
- 3 場所 陸前高田市気仙町字福伏 22
- 4 交通手段 借り上げバス 2 台（乗車人数 90 名）
- 5 引率 教員 6 名
- 6 活動内容
 - ② 語り部講話（陸前高田観光ガイド部会）…ガイド 2 名
 - ② 畑作り、花植え、草取り等（陸前高田カモメネット）…苗は持参
 - ③ 被災者との交流
- 7 参加生徒 生徒会執行部を中心とした 85 名の生徒
- 8 日程

時間	
6：30	滝沢中学校集合・出発
9：30	現地到着・語り部講話
11：00	作業開始
12：30	昼食（各自持参）
13：00	作業再開
14：30	作業終了・現地出発
17：30	滝沢中学校到着・解散

9 持ち物（略）

10 心構え

僕たち執行部が考えるのは、被災地ボランティアをしに行くのではなく、させてもらうという気持ちを持ち、させてもらえることを誇りに思い積極的に仕事を探し、最後まで心をこめてやりぬきましょう。



～生徒の感想～

○まだなにもないので、びっくりしました。今回のボランティアをさせていただいたことで、震災についての考え方が変わりました。

○僕たちが植えた花を見て、被災地の方が笑顔になってくれることを願って、これからも活動を続けたい。

○いち早く高台へ逃げることの大切さを学びました。

○身近にできるアルミ缶回収に積極的に参加し復興に貢献したい。



【まとめ】

前期の生徒会がPR活動・パネル展・現地ボランティア活動を実践して大震災の衝撃・希望・教訓を得ることができた。これらを、後期の生徒会が「引き継ぐ」ための会を企画運営し、今後の活動の決意表明を行う予定である。

この一連の活動を通して、風化を防ぎ次世代へ引き継ぎ手立てとしていきたい。